

- 問1 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 2. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 | 4. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を甕うために作られた。 |
|--|---|--|---|
- 問2 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。 | 2. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。 | 3. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。 | 4. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。 |
|--|--|--|---|
- 問3 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 | 2. 登呂遺跡 | 3. 岩宿遺跡 | 4. 三内丸山遺跡 |
|-----------|---------|---------|-----------|
- 問4 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 竪穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 2. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 | 3. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 | 4. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため | 2. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 3. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため | 4. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため |
|-------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
- 問6 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 石包丁 | 2. 埴輪 | 3. 銅鐸 | 4. 土偶 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問7 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 3. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 | 4. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 |
|--|--|---|---|
- 問8 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 2. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 3. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 4. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 |
|--|--|--|---|
- 問9 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--|
| 1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 2. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 3. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため |
|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--|
- 問10 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|---------|---------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 | 2. 三内丸山遺跡 | 3. 岩宿遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|-----------|---------|---------|
- 問11 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 中央集権社会 | 2. 高度情報化社会 | 3. 多文化共生社会 | 4. 持続可能な社会 |
|-----------|------------|------------|------------|
- 問12 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 磨製石器 | 2. 鉄器 | 3. 打製石器 | 4. 青銅器 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問13 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 弥生時代 | 2. 旧石器時代 | 3. 古墳時代 | 4. 縄文時代 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問14 縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 寝殿造 | 2. 竪穴住居 | 3. 書院造 | 4. 高床倉庫 |
|--------|---------|--------|---------|